

# 光星 逃げ切り8強

第76回  
秋季東北  
高校野球

第3日



【八学光星 仙台】4回表、八学光星1死満塁、竹田が中前適時打を放ち、40とリードを広げるグリーンスタジアムよこて

第76回秋季東北地区高校野球大会は第3日の18日、秋田県横手市のグリーンスタジアムよこてで、雨天順延した2回戦3試合を行った。県勢は初戦の八戸学院光星（第2代表）が森田、岡本琉の継投で序盤のリードを守り切り、5-2で仙台一（宮城第3代表）を下して8強入り。弘前学院聖愛（第3代表）は延長十回タイブレークの末、鶴岡東（山形第

1代表）に5-7で競り負けた。第4日の19日は秋田県内2球場で準々決勝4試合を実施する。県勢は青森山田（第1代表）が鶴岡東、八学光星が日大山形（山形第2代表）と激突。このほか秋田修英（秋田第2代表）と一関学院（岩手第1代表）、金足農（秋田第1代表）と学法石川（福島第3代表）が対戦する。（本田海輝、棟方好華）

## 竹田2安打 足でも貢献

序盤に着実に点を重ね、8強入りを決めた八学光星。4回の適時打を含む2安打1打点と活躍したリードオフマンの竹田は「センター返しを意識を徹底して打席に入った。今日は特に調子が良かった」と満足げに語った。初回の打席では三振したものの、「先発投手の癖をつかんだ」。次の打席からは配球の読みが当たり、直球、変化球ともに対応。「視野を広く持ち、冷静に振り抜くことができた」と自らを評価した。竹田は三回、走塁でもチームに貢献した。左前打で出塁後、すかさず二盗。その後、敵失の間に二塁から本塁を陥れ「県大会決勝は走塁ミスで負けた。東北大会まで練習してきた機動力が無駄にならなかった」とうれしそうに振り返った。次戦の日大山形とは、新チームになってから対戦経験はないが「必ず出塁し、次の塁を狙うことが自分の役割。1番打者としてチャンスメーカーとしていく」と意気込んだ。（棟方好華）

▽2回戦（グリーンスタジアムよこて）  
八学光星 111 200 000 25  
仙台一（宮城） 000 000 200 25  
（八）森田、岡本琉、住本、三回までに3安打や敵失などで3-0とする  
（仙）安藤、遠藤、千葉、小川、四回は1死満塁から竹田、二塁打、砂子田（八）水上

県勢きょうの試合  
（左のチームが一塁側）  
◇こまちスタジアム  
▷準々決勝  
鶴岡東—青森山田  
（山形） (10・0)  
◇グリーンスタジアムよこて  
▷準々決勝  
日大山形—八学光星  
 (12・30)